

第9回 川の自然と文化講演会

安曇野の水と暮らし

安曇野市は、犀川などの河川や拾ヶ堰などの用水堰、またわさび田などの湧水群による水辺の景観が特徴的です。この豊富な水辺や地下からの湧水は、私たちの暮らしと密接に結びつき、「命の水」、「耕作の水」として安曇野に特有の地域文化を作り上げてきました。

本講演会では、2題の講演を予定しています。

1題目は、安曇野の顔とも言うべき「地下水」をテーマに安曇野やその周辺の地下水の特徴を水質など科学的な観点から紐解き、特徴をお話しいたします。もう1題は、安曇野に住んでいた先人はどのように水辺を利用していたのかをテーマとして、豊科郷土博物館の展示なども参考としながら、先人の暮らしの様子や先人の見ていた水辺景観について、ご講演いただきます。



安曇野市豊科
わさび田湧水群

〈演題・講師〉

水質から見た安曇野の水の姿

新村 美博 氏 (一般社団法人長野県薬剤師会)

安曇野をめぐる水と私たちの暮らし

～豊科郷土博物館 常設展示より～

山下 泰永 氏 (安曇野市教育委員会)

■ 期 日 平成26年 7月 12日 (土)

■ 時 間 午後 1:30 ~ 午後 5:00 (午後 1:00 受付開始)

■ 会 場 安曇野市 豊科郷土博物館

■ 主 催 NPO法人 川の自然と文化研究所

■ 後 援 安曇野市／安曇野市教育委員会／松本市／松本市教育委員会／
安曇野環境市民ネットワーク／市民タイムス

入場料 100円
(博物館入場料)
事前申し込み不要です。

～お問い合わせ～

NPO法人 川の自然と文化研究所 事務局 講演会担当 / 百瀬

TEL 0263-72-3768 メールアドレス m-info@srncf.org